



大地申12号 2017年度「ライフサイクルの深度化」の運用に関する緊急申し入れ その3

【組合申し入れ項目】

2. 施策の目的実現と制度としての定着を目指し、施策を担う関係職場の負託に応える為、生活設計等に配慮し、本人希望の運用とすること。

2項で支社の見解と大きくかけ離れる職場現実が明らかになる!!
希望と異なる異動の意識付けについて見解を聞きに行くと...

希望していないの何で自分なんですか?
覚書は知らないんですか?

組合員

怒心

その他の声

- 運転士10年やっているがライフサイクルの趣旨を説明されたことがない。若手は駅に行くものとの認識が伝わっていない。
- 小金井運転区では希望と異なる意識付けが行われ、組合員から不安の声があげられ、信義誠実に則った施策の実施を求める署名を122名の組合員で取り組んだ。
- 駅では3年で帰ると言うとおもしろくないという現場長もいる。

リミットだから(39歳)
要員の需給
覚書は知らない
覚書は組合のことでしょ?

小金井運転区



(組合の主張)

• 施策の歪みが見えている! 覚書を知らないとか、覚書は組合の物だというのは協約否定だ! 支社の指導を強く求める!

(会社の見解)

• 事象については把握している。(覚書は知らない発言)
• 10年前の厳しい議論があったことが伝えきれていない管理者、伝わっていない認識はある。

- 申7号(12月)交渉の中で議論があった通り、面談時については施策の目的・趣旨については伝えていく事を考えている。平成採用の管理者についても勉強した上で面談を行えるように検討していく。
- 10年の課題、言われている通り歪みが見えたを受け止めている。

**施策の課題が歪みとなって発生しているとの共通認識に立ち
施策の目的等伝えられるように指導していく事を確認!**